

3.11

バリアフリー映画上映会 日本語字幕・音声ガイド付き上映

いのちを見つめいのちの輝きを取り戻す ～映画『MINAMATA』上映&アフタートーク～

日時

2023年  
3月11日  14:00-16:50 (13:15開場)

阪急うめだホール 大阪市北区角田町8番7号 阪急百貨店うめだ本店9階

入場無料・事前申込制 (3月10日締切) 定員：200名

受付が込み合うことが予想されますので、時間に余裕をもってご来場いただきますようお願いいたします。

本バリアフリー映画会は、日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクト（令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト）と協働して実施します。

「バリアフリー映画」とは？

耳が聞こえない・聞こえにくい人や、目が見えない・見えにくい人も安心して映画を楽しめるよう、日本語字幕や音声ガイドを付けた映画作品のことで。

プログラム

14:00-16:00

映画『MINAMATA—ミナマタ—』上映

上映時間：115分

16:10-16:50 《手話通訳、要約筆記》

アフタートーク『共に生きる』

- ゲスト 尾中友哉さん
NPO法人Silent Voice 代表理事
- 聞き手 高橋陽子
公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長



© 2020 MINAMATA FILM, LLC

- 日本語字幕はスクリーンに表示されます。
- 音声ガイドはアプリUDCastでご利用いただけます。ご利用の際は、UDCastアプリをインストールした携帯端末に作品のデータをダウンロードし、イヤホンを接続してお持ちください。※端末の貸出も予定しています。



iOS、Android対応

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会 (JPA) 協力：阪急百貨店

TEAM
EXPO
2025

日本フィランソロピー協会は、「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーに参画しています。

公益社団法人日本フィランソロピー協会 (JPA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244
TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585 (平日9:30～18:00)



Ⅰ プログラム

14:00~『MINAMATA—ミナマタ—』

- 監督 アンドリュー・レビータス ● 音楽 坂本龍一
- 出演 ジョニー・デップ、真田広之、國村隼、美波、加瀬亮、浅野忠信、岩瀬晶子、ビル・ナイ

ジョニー・デップが、全世界に関わるある重大なメッセージをハリウッドから発信する。伝説の写真家ユージン・スミスと当時の妻が、1975年に発表した写真集「MINAMATA」の映画化だ。ユージン・スミスは、今尚注目される史上最も偉大なフォトジャーナリストの一人、そんな彼が日本の公害病“水俣病”取材した写真集である。ジョニーは今もまだ続く水俣の危機に当たったスポットライトで、各国で同じ環境被害に苦しむ多くの人々をも照らし出そうと、主演自らプロデューサーにも名乗り出た。共演は英国の名優ビル・ナイに、日本からは真田広之、國村隼、美波、加瀬亮、浅野忠信、岩瀬晶子と、国際的に高い評価を受ける実力派が集まった。また、音楽は産業公害に強い関心を持つ坂本龍一が同じ志を持つ者として引き受けた。

人々の暮らしに寄り添ったユージンの瞳とカメラを通して私たちが見るのは、闇に包まれた苦難の瞬間にも、光として浮かび上がる人間の命の輝きと美しい絆。警告と希望を焼き付けた、今こそ体験するべき一本が誕生した。



© Larry Horricks



© Larry Horricks

16:10~ アフタートーク『共に生きる』



- ゲスト 尾中友哉（おなかともや）さん
NPO法人Silent Voice 代表理事

1989年生まれ、滋賀県大津市出身。ろう者の両親を持つ耳の聞こえる子ども（CODA※）として、手話を母語に育つ。2014年より、ろう者特有の「コミュニケーションの壁を乗り越える力」を実践的に習得する企業向け研修プログラム「DENSHIN」を提供開始。2017年には教育分野へも参入し、ろう・難聴児向けの総合学習塾「デフアカデミー」を創設。教育・就労という二大テーマについて「ろう者・難聴者と社会の関係性を変える」ビジネスを創出・展開しつつ、自治体の委員や企業のダイバーシティ事業部などへ相談役として参画。また、社会起業家として、ニュース番組のコメンテーターやビジネスコンテストの審査員を務めるなど、幅広く活動を展開。

※CODA（コーダ/Children of Deaf Adults の略）

- 聞き手 高橋陽子（たかはし ようこ）
公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場される方は以下の対策をお願いいたします。

- 体調不良（発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの対応）の方はご来場をご遠慮いただきます。
- マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
- 観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。（障害のある方等の誘導、介助を行う場合は除きます）
- 大きな声での会話・歓声はご遠慮いただきます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- スタッフの体調確認を行います。
- スタッフはマスク着用の上で案内いたします。また、こまめな手洗いを行います。
- 館内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- 館内は密閉した空間にならないよう、定期的に換気を行います。

令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクトとは

「日本人と自然」を障害者の視点を通して発信した「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」（2020.2~2022.3）を継承し、文化芸術を通じた共生社会の実現を目指す事業です。舞台芸術、美術、ファッションショー、バリアフリー映画等をコンテンツとして、障害者と共に創るプロジェクトを全国で展開しています。

【主催】文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

【共催】日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクト実行委員会、公益財団法人日本ダウン症協会、認定NPO法人DPI日本会議、社会福祉法人日本肢体不自由児協会、全国自立生活センター協議会（JIL）、特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク、公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）